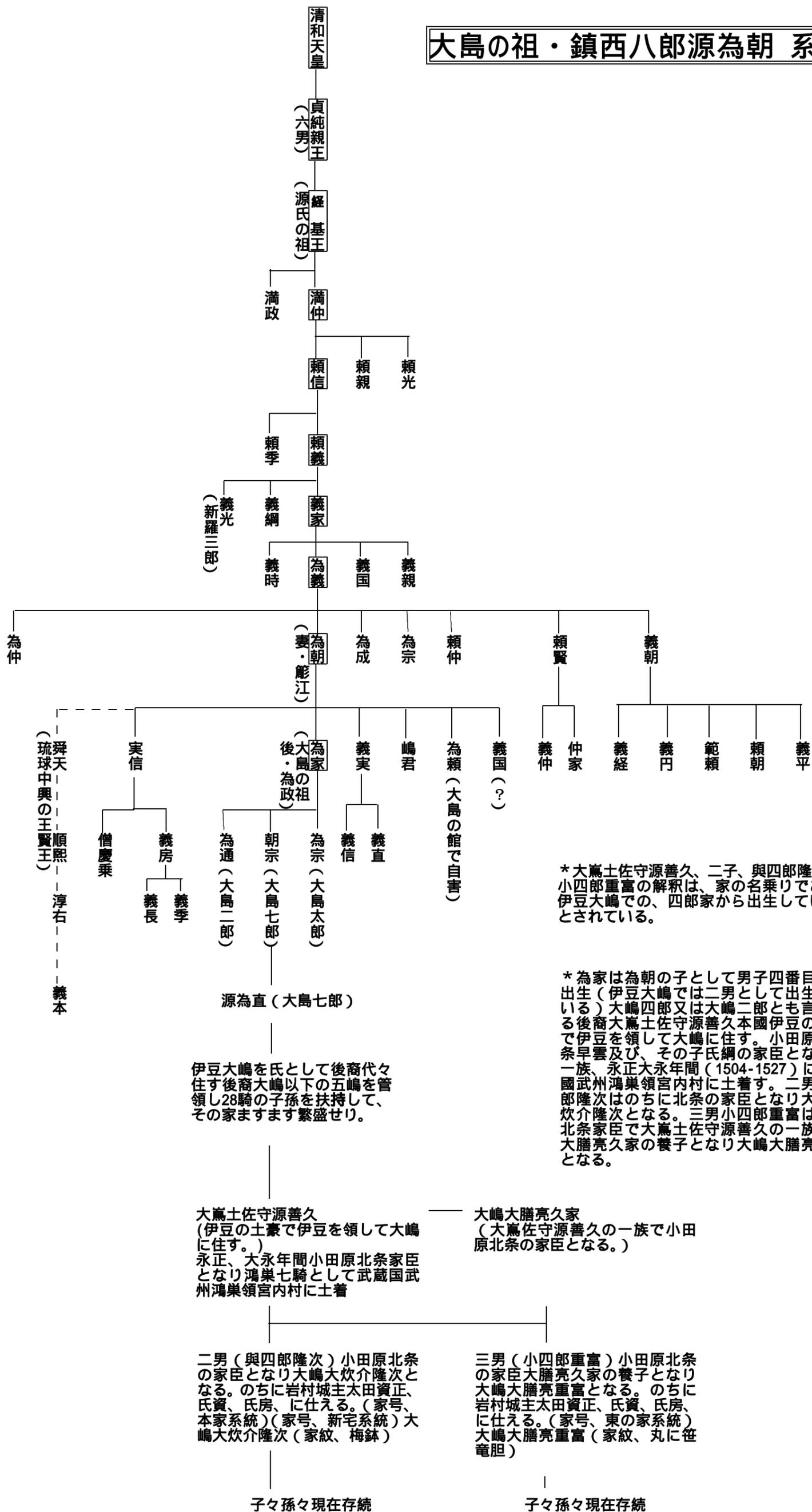


大島の祖・鎮西八郎源為朝 系図



*大嶋土佐守源善久、二子、與四郎隆次、小四郎重富の解釈は、家の名乗りであり伊豆大嶋での、四郎家から出生しているとされている。

*為家は為朝の子として男子四番目にて出生 (伊豆大嶋では二男として出生している) 大嶋四郎又は大嶋二郎とも言われる後裔大嶋土佐守源善久本國伊豆の土豪で伊豆を領して大嶋に住す。小田原、北条早雲及び、その子氏綱の家臣となつて一族、永正大永年間 (1504-1527) に武蔵國武州鴻巣領宮内村に土着す。二男與四郎隆次はのちに北条の家臣となり大嶋大炊介隆次となる。三男小四郎重富は後に北条家臣で大嶋土佐守源善久の一族大嶋大膳亮久家の養子となり大嶋大膳亮重富となる。

大嶋土佐守源善久 (伊豆の土豪で伊豆を領して大嶋に住す。) 永正、大永年間小田原北条家臣となり鴻巣七騎として武蔵國武州鴻巣領宮内村に土着

大嶋大膳亮久家 (大嶋土佐守源善久の一族で小田原北条の家臣となる。)

二男 (與四郎隆次) 小田原北条の家臣となり大嶋大炊介隆次となる。のちに岩村城主太田資正、氏資、氏房、に仕える。(家号、本家系統)(家号、新宅系統) 大嶋大炊介隆次 (家紋、梅鉢)

三男 (小四郎重富) 小田原北条の家臣大膳亮久家の養子となり大嶋大膳亮重富となる。のちに岩村城主太田資正、氏資、氏房、に仕える。(家号、東の家系統) 大嶋大膳亮重富 (家紋、丸に笹竜胆)

子々孫々現在存続

子々孫々現在存続